



### 景氣挽回策に

## マーケットを改造

### 株式組織も考慮

小名浜町から、平、湯本江名、泉へのバスを基点、小名浜町マーケットに小名浜町マーケットが地の利を得、昭和十二年一月設立されたのは、衆知の通りであるが、時の變遷と共に變貌を見せ衰頹の一途をたどっている現状がある、そこで管理人の小野幸次郎氏を訪れその挽回策を聞いてみた

同マーケットは戦争未亡人海外引揚者等はゆる戦争犠牲者の厚生事業として発足三十二戸、三十二世帯が洋品洋裁、軽飲食、カバン修理、菓子類等の營業部門をもつていたが特別に經營困難なのは菓子類をあつかつてゐるもので中には營業を中止してゐるものが二三あるがそれらの世帯の中には他に勤めをもつて一家を支えているものも少なくない、金融が許さなければ來年度に成るがマーケット自體の改造をする積りである、

## 報徳精神を普及

### 泉村の講習會盛況

(既報) 一家の繁榮、郷土の興隆、町村民の實生活を指導することは町村民治振興上極めて重要な問題であり、この指導的立場にある町村民員町村議會議員並びに將來指導者となるべき中堅青年に報徳精神を普及

泉村の講習會は、町村民治振興上極めて重要な問題であり、この指導的立場にある町村民員町村議會議員並びに將來指導者となるべき中堅青年に報徳精神を普及

### 雲照律師

明治の高僧で有名な少食者雲照律師の一日の食は、朝三時に起きて牛乳一合を飲み煎餅三枚を食ひ午前十一時まで坐禪し晝に小さい茶碗に三杯の飯と豆腐汁とを攝り、夜十一時まで讀書した後に牛乳一合を飲み水飴少しばかり甜めると云ふ毎日の生活であつたが、八十三才まで壯健を保つた

### 木食上人

小食の極まるものが斷食で粗食の至れるものに生食がある大體、生食すると普通調理した火食に比し三分の一乃至四分の一の減量で足



自轉車盜難

小名浜町上町、冷菓業會我市四郎氏は二十日四日三千円岩壁で釣を盗まれた同町警察署へ届け出た

及するため町村會議長會主催のもとに町村振興報徳講習會を八月二十三日より二十五日まで泉村公民館に於て開いてゐることが、現報の通りであるが、現在受講者は郡内各町村代表を初め、遠く原の町より約六〇名に達している

炊事場での死 泉村下川字中一四三番地、農業田邊要氏妻アキ(三九)さんは二十三日午後二時四十分頃自宅裏炊事場の梁に手をかけて縊死した、原因は本年三月頃より婦人病のため神経衰弱となつてゐたので病氣を苦にしたものらしく子供四人がある

コソ泥横行 去る二十三日午前二時より六時までの間に小名浜町西鹿島商店藤

堂秀夫方の妻に面する雨戸を盗み、侵入し五百圓位盜難に遭つた

市況(小名浜魚市場) 小あじ 一七〇—一五〇圓

さば 二二〇—二〇〇圓

かます 二五〇—一八〇圓

すずき 三〇〇—一七〇圓

中あじ 二〇〇—一五〇圓

中あじ 二〇〇—一五〇圓

中あじ 二〇〇—一五〇圓

中あじ 二〇〇—一五〇圓

中あじ 二〇〇—一五〇圓

中あじ 二〇〇—一五〇圓

中あじ 二〇〇—一五〇圓

中あじ 二〇〇—一五〇圓

中あじ 二〇〇—一五〇圓

中あじ 二〇〇—一五〇圓

中あじ 二〇〇—一五〇圓

中あじ 二〇〇—一五〇圓

中あじ 二〇〇—一五〇圓

中あじ 二〇〇—一五〇圓

中あじ 二〇〇—一五〇圓

## 少食雜傳

### たかせ・かすみ

(2)

大豆、人参、さつまいも、と云つたもので、皆、生の物ばかり、この僧は同町の有名大連寺石井存龍師である

陸中の一老人 明治の初年、陸中盛岡に居た一老人は、白髪、童顔、色はなつめ、の如く夏冬通して単衣一枚、外出の時は一本歯の高下駄で、目方十五六貫の鐵棒をステツキ代りに悠々かつ歩する有様は見るも羨ましい位で、食物は常に栗食、小食が行はれるこ

石井存龍師 武州川越町にこれと似た僧侶が居た、寒くは足袋を用ひ、寒に仕へ、現代の文化生活を尻目に簡素な生活々々としてゐたが食物は

とは普通のこと、回教も佛敎も波羅門敎もその他の宗教にも大抵、食の儀式がある、キリストにも四十日廣野に於ける斷食があり、入山の釋教も日に一食を取り、遂には一月一食、止息、絶食の苦行をして居る、仙家では霞を吸ひ霧を喰ふことを氣食と呼んで居り、佛家では思食、觸食、識食と云ふ滋養物もあり少し進んで法喜食、禪悦食と云ふ極高等食糧も数へ立てて居るが、これ等は我々凡人の食の對象として一寸縁遠い、少食斷食とは人類常用の穀肉食の類に對する、断食の話を限りたい

マホメット 回教教徒は今でも回教の第九月に断食行事を厳守するが、これは一種の少食とも云ふべきもので日出から日没まで食を斷し夜には清潔な食を攝つて宜いことに於て居るが本來回教徒の齋戒は極めて峻烈なもので假令第九月が夏季に廻り合つても一滴の水さへ口にしないのだ、教祖マホメットの左手にコラーン、右手に劍を按じて歐亞を席巻した峻烈な遺風を見るようだが彼自身また一日一食らくだ乳と蜂蜜を嗜好したと云はれてゐる

長瀬印刷所 磐城日日新聞社 社長 長瀬芳郎 小名浜町 電話 219番



小名浜町下町 電話 451番

皆様のなじみの 皆川のパン!!

製粉製麵の加工は是非定評のある皆川へ!

農林省契約工場

皆川食品工業所

皆川 太丸

三崎綱取 電話三二四番

栄養万点 疲勞回復には

中野屋の牛肉を!

中野肉店 本町通り 電話298

味噌!! 醬油!!

醸造元 小島

小島源一郎 東町電話九番

井澤製材販賣所 小名浜町新川一四 (東北配電營業所向側)

在庫豊富 材木なら何んでも御相談に應じられる 便利な店!!